

【トピックス】 ～春に向けて水辺が盛り上がってきました～

- ・尾原ダムに人工の滝が出現？
- ・松江、天神川で舟出の祝い、卒業シーズンです。

レポート「尾原ダムの人工の滝とは？」

■3/7(土)、斐伊川上流の尾原ダムに「人工の滝」が出現するという
ことで、取材です。

尾原ダムに到着すると、ダムの頂上からダム内のエレベータでダム直下までおよそ60m降下。エレベータの中は満員です。11:00くらいに何やら放送が。「これから・・・放流を開始・・・」。

「人工の滝」とは、大きな洪水時にゲートが正常に動作するか点検する際に起こる放流のことなのです。

「ゴゴゴ～・・・」という音と共にものすごい勢いで水が流れ落ちてきます。確かに「滝」です。しぶきがハンパないため、場所によっては服がずぶ濡れになります。しかし、このチャンスを写真に収めるため、接近して撮影。せっかくだから動画も撮ろうと思ったら、カメラもずぶ濡れになってしまいました。

お客さんもたくさんです。皆さん、思いのままに写真を撮影されていました。空にはラジコンのヘリコプターが飛んでいて、どうやら上空から放流の様子を撮影しているようです。

「滝」の隣では「猪汁」が振る舞われていました。まだ、肌寒い時期に少しピリ辛の汁がとてもありがたいです。また、ダムカードの配付も行われており、カードをもらったら尾原ダムの近くの施設で特典がついてくるというお知らせもありました。

ダムは山間部にあって、普段はあまり近づくことがない場所かもしれませんが、ダムのゲート点検をきっかけとして、たくさんのお客さんで賑わい、地域も巻き込んだイベントでした。点検は毎年実施されます。さらなる賑わいに向けて早速アイデアも出ているようです。

来年も楽しみです。



「人工の滝」の正体



「滝」直下の人々、少なからずしぶきを受けています

レポート「遊航！天神川まちぐるみ舟出の祝い」

■3/15(日)、松江市市街地を流れる天神川で地元小学生の卒業を祝い、遊覧船が出航しました。今年で7回目ということでした。

卒業のお祝いをまさしく「舟出」とした水の都松江ならではのイベントです。橋の上から大人達が祝福し、船上の子供たちもそれに手を振り応える、地域ぐるみのあたたかさを感じます。

また、子供たちにふるさとの川への愛着を持ってもらう意味もあるそうです。未来のミスベリングの旗振り役がここから生まれてくれるとうれしいです。

ご卒業、おめでとうございます！



思い出に残る「舟出」